

事業者名：株式会社アグリライト研究所

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

当社は『植物に挑戦するすべての方を技術的にサポートし、すべてのチャレンジに光を当てる専門家』であり、ステークホルダーは『植物を、農業向け、環境向けへの役付けを目指す』場合が多く、当社役割としてはその満足度や利益が最大化されるように技術研究や動線構築を行うことで、持続可能な「食」「環境」構築に貢献していく。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	当社栽培設備見学やインターンシップ受入れの実施による、植物役割の数値化を体感いただく	設備見学・インターンシップ受入合計組数 2022年 3組 2025年までに 10組
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	テレワーク利用機会に対し、データ扱いセキュリティ強化や栽培管理「遠隔監視」体制を進め、安心したスタンダード業務体制を構築する	従業員満足度向上（5段階評価：5が最上位） 2022年 満足度評価3 2025年 満足度評価4
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	専門分業制を強化し、技術者（プログラマー、データサイエンティスト、バイオインフォマティシャン）の新規採用を進める	2022年 0名 2025年 2名

<パートナーシップ>

当社は山口大学農学部発ベンチャー企業でもあることから、民間企業を中心に、山口大学・熊本大学・熊本高等専門学校といった教育機関との連携実績があり、産官学プロジェクトも得意である。近年ではブルーカーボン「アマモ」を題材に、熊本県立芦北高等学校との研究連携も2018年からスタートし、その研究成果を活用して、アマモ場造成に向けた活動展開も進めている。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標（更新時に向けた数値目標）」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

○ SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係る進捗状況（※更新の場合のみ。）

○登録状況：第 期登録（登録年月日：令和 年 月 日）

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済			
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済			
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済			

- ・「登録状況」及び「登録番号」を記載してください。
- ・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。